



住友電気工業<5802>、傘下の住友理工<5191>をTOBで完全子会社化



電線・自動車用ワイヤハーネス大手の住友電気工業は、ゴム製品や樹脂製品メーカーで子会社の住友理工をTOB（株式公開買い付け）で完全子会社化する。自動車産業におけるCASE（コネクティッド、自動化、シェアリング、電動化）などの変化を背景に、完全子会社化することで、技術・ノウハウの融合による研究開発力の向上やグローバルでの事業基盤の相互活用、人的リソースの活用やリスクマネジメント力の強化などの相乗効果を見込む。

住友理工はTOBに賛同し、株主に応募を推奨している。TOB成立後、同社は東証プライム市場、名証プレミアム市場への上場が廃止となる。

買付代金は約1333億円。買付価格は1株につき2600円で、公表前営業日の終値2156円に対して20.59%のプレミアムを加えた。買付予定数は5128万9700株で、下限は所有割合16.07%にあたる1668万1702株。買付期間は2025年10月31日から2025年12月15日までの30営業日。決済の開始日は2025年12月22日。公開買付代理人はSMBC日興証券。

住友理工は1929年に昭和興業として創業。1949年に名証に株式上場し、2014年に現社名に商号変更した。1994年に東証2部に上場し、96年に東証1部に移行（2022年4月に東証プライム市場、名証プレミアム市場に移行）。